

武藤第一貨物社長

合弁会社への思い語る

第一貨物（本社・山形

市）の武藤幸規社長は、

トナミホールディングス

と久留米運送との三社に

よる合弁会社設立につい

て、「顧客からは全国どの

地域でも対応できるよう

方法として、当社では共

同出資がベストだと判断

した」と話す。

「狙いは東京―大阪間

の共同運行にある」と武

藤社長。かつて国が推進

した、平成六年から東京

この問題は解消できる」

とした。

資本入ること

で本気になる

資本を出資する意義も

強調。契約ベースでは取

「共同出資が最良の形」

「全体最適」が求められ
る時代。これに対応する

―大阪、東京―愛知間で
実施された共同運行が成
功しなかった要因は参加

事業者が多数に上り、特
にピーク時間帯の積み降

ろしの順番調整で利害が
生じてしまったことにあ

るとして、「三社間でなら

り組みに限界があるが、
「資本が入ることでは本気
になる。それで別会社に

した」。

また、東北、中京、九
州にそれぞれ地盤を持つ

三社が共同出資する方法
を選択したことについて

武藤社長は「（全国ネッ

トワークへの顧客ニーズ

に対応する方法として」

各企業を持ち味を最も生

かせる形」とし、合弁会

社設立を機に三社の一層

の連携強化を図る考えも

示した。

第一貨物とトナミホー

ルディングスが四〇％ず

つ、久留米運送が二〇％

を出資してつくる幹線共

同運行のための合弁会社

ジャパン・トランス・ラ

イン（坂田昭雄第一貨物

常務が社長就任予定）は

八月中旬をめどに本格的

に営業を開始する。

（矢田 健一郎）

